

空き家除却促進に係る連携協定について(概要)

1)協定締結目的

協定締結先である株式会社クラッソーネが提供する解体費用シミュレーター等のシステムを活用することで、管理不全な状態にある空家の所有者等へ空家の除却を促進し、もって空家等の適正な管理の推進に寄与すること目的とする。

2)連携により提供されるサービス(基本は無償提供)

- 解体費用シミュレーター・すまいの終活ナビの活用
- フライヤー・パンフレットの作成
- 空家対策セミナー開催協力
- 空家所有者への工事会社紹介

3)山武市の空家等の状況

ランク		件数
A	活用可	313
B	要修繕	345
C	要適正管理	226
D	管理不全	159

市内空家総数 1,043 件
(令和4年度空家等実態調査等による)

Dランク判定の管理不全空家は、
特定空家等相当であり除却が必要

■空家について相談したい内容について(n=311)

選択肢	山武市R4	
	回答数	割合
売却や賃貸について	129	41.5%
リフォームや修繕について	57	18.3%
税金や管理費用などについて	48	15.4%
空家の解体について(費用や手続等)	125	40.2%
相続や登記に関する手続について	53	17.0%
庭等の手入れ方法について	36	11.6%
その他	43	13.8%
無回答	60	19.3%

(空家所有者等意向アンケート調査結果より抜粋)

■空家問題解決に必要な支援制度について(n=311)

選択肢	山武市R4	
	回答数	割合
空家の修繕・リフォームに関する助成制度	97	31.2%
空家の解体・取り壊しに関する助成制度	157	50.5%
修繕・リフォーム等の建築に関する専門家の相談制度	34	10.9%
不動産(管理・活用)に関する専門家の相談制度	58	18.6%
相続や登記等の法律に関する専門家の相談制度	43	13.8%
草刈等の敷地管理者の紹介制度	41	13.2%
空家に関する専門家による相談会の開催	44	14.1%
空家解体後の固定資産税の減免措置制度	90	28.9%
空家利活用希望者の紹介制度	56	18.0%
空家解体後の土地の公共的利用制度	59	19.0%
特に必要な支援制度はない	16	5.1%
その他	21	6.8%
無回答	66	21.2%

4)協定締結により得られるメリット

・空家所有者への空家除却に関する相談体制の強化が図られ、空家の除却推進に寄与する。

→令和4年度に実施した空家実態調査結果より市内の空家総数は1,000件を超えており、今後も少子高齢化の中で増加してくと想定される。

→空家全体のうち26%は要適正管理及び管理不全の空家。要修繕の物件についても226件(22%)と一番のボリュームゾーンとなっていることから早めの対応を所有者等へ啓発する。

→所有者意向調査結果では、「空家の解体について(費用や手続等)」相談したいと回答する所有者が多いが、市での解体に係る相談体制がない状況。

5)千葉県内の協定締結状況

香取市のみ(参考:全国での本協定締結数 60自治体)